平成 28 年 10 月 1 日
第 44 号
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院だより

いこいの森

患者さまを中心として、質の高いかつ安全な医療を提供します

眼科部長就任のご挨拶

眼科部長　荒川 明

本年 7 月より眼科部長を拝命いたしました。平成 2 年に東北大学を卒業後、同大学の眼科に入局しましたが、14 年前に横浜に転居し、これまで虎の門病院や横浜市立大学などで勤務しておりました。

皆様、私たちが身の回りから得られる情報の 8 割は視覚を通して得られているのを御存じでしょうか？それゆえ、いったん視覚障害を生じると、私たちの生活や仕事に支障を生じるだけでなく、うつなどを引き起こす場合もあります。私がこれまで専門としてきた網膜の病気の中にも網膜剥離や糖尿病網膜症など重症の視覚障害を生じる病気があり、これまで私はそのような患者さまの手術治療に全力を傾けてまいりました。

当科の医師のほとんどが眼科専門医の資格を有しており、網膜疾患以外に、白内障・緑内障・まぶた・斜視などの手術治療も多数施行しております。医師・スタッフ一丸となって今後も頑張って参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

（当科に初診の際にはかかりつけの先生からの紹介状が必要になります）

Seibu Time　⑭『保土ヶ谷バイパス』

当院の北側には、「保土ヶ谷バイパス」が通っています。国道 16 号のバイパス道路で主要区間は片側 3 車線、規制速度が 80km/h と高規格の自動車専用道路ですが通行料は無料です。東名高速道路や横浜新道、横浜環状 2 号線、横浜横須賀道路、首都高速道路などと接続し、平成 22 年の国土交通省の調査によると、平日昼間 12 時間に 104,846 台(1 秒あたり 2.42 台)の交通量があり、全国の一般道路の中で最も多い、とのことです。

今年の４月には、東名高速道路横浜町田インターチェンジと国道２４６号線を続けて立体交差をする工事が完了しました。国土交通省の資料によると、「今回の工事完了で、町田市(南町田交差点)から最寄りの救命救急センターのある病院(当院)へのアクセス時間が 21 分から 8 分へ 13 分短縮。」と記載されています(H28/7/28 川崎国道事務所記者発表資料より)。

当院は、『横浜市』西部病院という名称ですが、もちろん、町田市を始め広域から重症の患者さまを受け入れています。病院への到着が少しでも早くなることは救命率の上昇につながりますので、渋滞の緩和は大変喜ばしいこと、と思います。

（文章、写真共にフリー百科事典「ウィキペディア」より一部引用）

高校生の１日看護体験を実施しました！

「1 日看護体験」は、“病院で働く様々な人々や看護師の仕事をもっと皆様に知って頂くこと”を目的に毎年 7～8 月に開催しています。高校生を対象とした企画は今年で 6 年目となり、参加者数は 43 名、延べ数は 191 名となりました。参加者の約 70%が旭区・瀬谷区にある高校の学生さんでした。体験内容は、看護師と一緒に足浴などの清潔ケアや食事の配膳、車椅子移送、処置の見学などを行いました。参加者からは、「患者さんに『ありがとう』と言われて嬉しかった」、「色々な人を助けたいし、患者さんの力になりたい」、「温かい言葉かけや笑顔の大切さを実感した」、「自分も成長できる良い仕事、憧れる」といった感想が多く聞かれました。実際の現場で患者さんと触れ合い、看護師の仕事やその思いを知ることで、将来の自分の姿や仕事、健康や生命について考える機会になっているようです。初めての白衣を嬉しそうに、恥ずかしそうに着る姿は印象的で、私自身が 1 日看護体験に参加した頃を思い出し、「なぜ看護師になったのか？」という原点に立ち戻ることができました。今後も開かれた病院として、地域住民の皆様と職員とのふれあいを大切にした活動を継続していきたいと考えています。

１日看護体験担当：４階北病棟師長　山崎　美鈴

シリーズ 部署紹介　＃０８ 健康管理部

健康管理部では、現在数名の医師（兼務）と２名の保健師（専任）で、大きく分けて２つの業務を行っています。

１つは、患者さまを対象とした業務です。病院に来られる患者さまは、病気を治そうと不安な気持ちで受診をされていると思います。病院の中にあって、唯一『未病』の段階で患者さまに健康のアドバイスをする部署です。主に、①人間ドック、②健康診断、③予防接種（成人）を行っており、人間ドックでは、昨年度より１日（日帰り）ドックとし、受診しやすいお値段で、できるだけ多くの疾患の早期発見ができるよう努めています。さらに特殊なものとして、簡易脳ドック、肺ドックなども行っております。肺ドックは、現在喫煙をしている方や以前に喫煙をしていた方にはぜひ毎年定期的に受けていただきたいと思います。今まで喫煙したことがない方でも肺がんの危険性はありますので、ご検討下さい。

もう１つは、職員を対象とした業務です。職員が病気であると、患者さまの医療が十分に行えないだけでなく、場合によっては患者さまに悪影響を及ぼす可能性もあります。そのようなことを防ぎ、職員が笑顔で元気に働けるよう、心と体の健康支援を行っています。

健康管理部部長　駒瀬裕子
(呼吸器内科部長)

活躍しています！『糖尿病療養指導士』

糖尿病は近年、生活習慣や社会環境の変化から、急速に増加してきています。将来は１０人に１人が糖尿病にかかるといわれています。糖尿病患者さまの年齢は幅広く、生活環境や習慣も異なるため、その人の生活スタイルに合わせた糖尿病の治療が必要になります。

糖尿病は発症すると完治しない病気であるため、患者さま自身が病気を理解され、これまでの生活習慣を振り返り、ご自身に必要なことは何であるのかを具体化することが求められます。糖尿病療法指導士は専門家としてその手助けをすることが役割です。

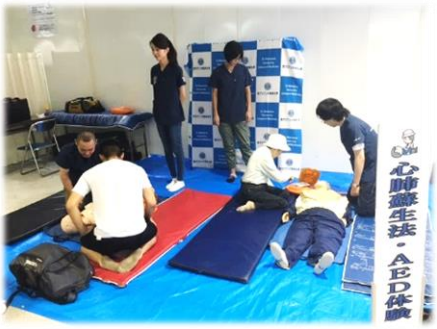
入院前の生活状況や仕事量・食生活など話を伺い、話を基に患者さまに合わせた指導内容を病棟の看護師・担当の医師・他職種と連携をとり糖尿病指導を行います。退院後の生活に不安なく取り組んでいけるようにするため、患者さまと一緒に生活の改善策を考えています。現在は病棟での活動が中心ですが、今後は外来でも糖尿病の患者さまと関わり退院後の生活面・食事面などの支援を行えるように活動していきたいと思っています。

筆者

糖尿病療養指導士
５南病棟看護師　牧島雅恵

「旭区救急フェア 2016」を開催しました

９月３日(土)、相鉄線二俣川駅２階の改札北側通路において、「旭区救急フェア 2016」を横浜市旭消防署の主催で開催しました。当院からは救命救急センター、こどもセンターの看護師など計６名が参加しました。今年は二俣川再開発の工事のため、昨年に比べコンパクトなスペースでしたが、旭区医師会による「健康相談、血圧測定」、当院看護師の指導によるＡＥＤ（自動体外式除細動器）体験、心肺蘇生法の講習を行い、市民の皆さんが貴重な体験をされていました。横浜市消防局のマスコットキャラクター「ハマくん」も登場してケガの予防対策に関するパンフレットを配って呼びかけを行い、お子様連れの方は「ハマくん」との写真撮影をされたり、ご家族で楽しまれていました。



横浜消防マスコット ハマくん

このイベントは**“救える命を救いたい”**をスローガンに横浜市旭消防署の主催で市民の皆さんに正しい救急車の利用を呼びかけ、応急処置と救急に関する知識を広めることなどを目的に行われています。

今後もこのような活動に参加して、地域貢献のお手伝いをしていきたいと思っています。

患者さまのご意見から　No.12

面会者のトイレについて：入院の時、面会者が面会用のトイレを１階まで行かなくてもいいように、各階に１箇所でもトイレがほしいです。

当院からの回答

ご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。

病棟トイレを限定させて頂いている理由は、感染症を予防する上で、入院患者さま限定でご使用をお願いしております。

お見舞いや付き添いの方は上記の理由により、地下１階から２階までのトイレをご利用くださいますよう、お願い致しております。なお、案内表示については改善できるよう、検討しております。

市民公開講座のお知らせ

☆「**ご存知ですか？肺がんの最新治療と予防**」　平成 28 年 11 月 12 日（土）14:00～16:30
場所：横浜市旭区民文化センターサンハート（二俣川）　入場無料・申込み不要　先着 150 名

☆「**どうする？脳卒中**」　平成 28 年 12 月 18 日（日）13:30～16:10（予定）
場所：県民共済みらいホール（桜木町）　入場無料・申込み不要　先着 300 名

総合相談部からのお知らせ

総合相談部では、入院中、または外来診療中の患者さま、ご家族のご相談を承っています。ご相談内容については、秘密を守ります。どうぞ、お気軽にご相談下さい（ソーシャルワーク係、ホームケア係は、事前にご予約をお願いします）。内容は、以下の通りです。

【ソーシャルワーク係】利用できる社会保障・サービス・病院や施設のことを相談したい、医療費や生活費が心配、転院の相談　など。

【ホームケア係(看護相談など)**】**介護の仕方が分からない。訪問看護を受けたい　など。

【地域医療連携係】近くの医院やクリニックを探したい、紹介状について知りたい　など。

【総合案内】受診の手続きを知りたい、院内のことについて知りたい　など。

【患者さま相談窓口】ご意見、ご要望があればお聞かせ下さい。

総合相談部の場所：
- ソーシャルワーク係、ホームケア係(1 階正面玄関横)
- 地域医療連携係、患者さま相談窓口(1 階産婦人科外来横)
- 総合案内(1 階正面玄関)

当院は原則として「**初診紹介制**」となっています。初めて受診されるときは、地域医療機関（かかりつけ医等）からの**「紹介状」をお持ちください。**初診時に予約制を実施している科もあります。詳しくは、院内のチラシ、ホームページまたは、総合案内、地域医療連携係へご確認下さい。

【当院の休診日】　日曜日、国民の祝日、第 1・3 土曜日、開学記念日(10 月第 2 土曜日。**今年は 10/8 です**)、年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)

発行：聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院　地域広報小委員会
〒241-0811　横浜市旭区矢指町 1197-1　TEL：045-366-1111(代)

次回(第４５号)は、平成 29 年 1 月 1 日発行予定です。